

## リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

愛知県教育委員会（愛知県）

| 学校名             | 教育利用・校務利用 | 実践事例の概要   | 様式         |
|-----------------|-----------|---|------------|
| 東海樟風高校<br>【指定校】 | 教育利用      | ① <b>授業での活用 課題研究「ITトレンド」</b><br>テーマ「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」   | B-1<br>B-2 |
| 東海樟風高校<br>【指定校】 | 教育利用      | ② <b>部活動での活用（コンピュータ部） 課題解決学習で使用</b><br>「やまがたAI部」「パソコン甲子園」「AIアートグランプリ」「ChatGPT×□<br>ボットアイデアコンテスト」<br>「シンギュラリティバトルクエスト」 | B-3<br>B-4 |
| 足助高等学校<br>【指定校】 | 教育利用      | ③ <b>「和歌の世界を画像化しよう」</b><br>・和歌についてその意味を調べて、画像生成AIを用いて自分のイメージを作成する   | B-5<br>B-6 |
| 足助高等学校<br>【指定校】 | 教育利用      | ④ <b>「生成AIとディベートをしよう」</b><br>・ディベートの行い方を知り、生成AIを相手にディベートの練習を行う  | B-7        |
| 足助高等学校<br>【指定校】 | 教育利用      | ⑤ <b>「生成AIを用いて前時の復習をしよう」</b><br>・授業の初めに生成AIで小問題を作成し、教員が解説・間違いを指摘して興味を高める。   | B-8        |

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立東海樟風高等学校（愛知県）【指定校】

## &lt;教育利用&gt; ①授業での活用

## 課題研究「ITトレンド」 テーマ「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

課題研究「ITトレンド」 3年3単位 生徒数13名

## 授業で行ったこと

- ① 企業、IT施設、大学、専門学校などに訪問し、施設見学や講演、体験学習を実施
- ② 地域課題解決、アイデアコンテストへの参加（東海市役所と連携、STREAMチャレンジ）

テーマ 「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

4～5月 オリエンテーション、AIChallenge教材を使用し、AIについて基礎的な学習を実施

6～7月 大学訪問（名古屋学院大学） 探究学習について（文脈を見る、本質は何か）  
 企業訪問（株式会社N2i） ChatGPTとは何か（仕組み、活用方法、注意事項、プロンプト）



ChatGPTを活用して、地域課題解決をテーマにアイデアソン → クオリティが高くChatGPTの可能性を感じる！

9～10月 東海市役所に訪問し、職員より東海市について、東海市の抱える課題について説明を受ける。

## 提供された課題は5つ

- ①子どもや子育て世代への支援
- ②温室効果ガス削減の取組み
- ③地域運営体制づくり
- ④防災・減災対策
- ⑤自治体DXの推進



市役所での様子

直接、担当者から困りごとを聞き生徒は意欲を燃やす！

ChatGPTを課題解決型学習で積極的に活用をした

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立東海樟風高等学校（愛知県）【指定校】

## <教育利用> ①授業での活用

### 課題研究「ITトレンド」 テーマ「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

11月 市職員へ課題解決発表を2度実施。アドバイスを参考にブラッシュアップ、再度発表へ。

ChatGTPだけではなく、BardやBingChatなどを用途によって使い分けて使用したり、生成AIの意見を踏み台にして面白いアイデアを生み出していた。職員の方に好評であり、何より驚いていた。



## アイデアコンテスト（STREAMチャレンジ）



生成AIを活用することで、アイデア出し、論点整理、新たな視点、課題などに気付けた。課題解決学習を効率よく進めることが飛躍的にできるようになった。

### 生徒の感想

ChatGPTを使うときは、**一人でやるのではなく、チームで行った方が気付きが多く新たな視点から論点を議論ができるのでとても良い**

### 課題

- ・生成AIのプロンプトがあいまいであったり、何度も質問を重ねるなどしない生徒もいた。使用方法を習熟させたい。
- ・知識が不足、アイデアが固まっていなくて成果が薄い。ゼロから答えを出してくれるものではなく、補完するものという発想が大切。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立東海樟風高等学校（愛知県）【指定校】

## ＜教育利用＞②部活動での活用（コンピュータ部） 課題解決学習で使用

コンピュータ部 課題解決学習で使用 部員数：1年30人、2年20人、3年10人、計60人

これまで情報処理の大会や資格取得が主な活動であったが、今年度より「課題解決学習」「e-スポーツ」「動画編集」に取り組んだ。また、さまざまなコンテストに参加した。

取り組んだコンテスト等 「やまがたAI部」「パソコン甲子園」「シンギュラリティクエスト」「AIアートグランプリ」「ChatGPT×ロボットアイデアコンテスト」

ChatGPT有料版のアカウントを本事業とは別の予算で取得

教員6名 生徒3名（コンピュータ部生徒各学年に1つずつ）に使用してもらい活用方法を聞いた。

## 「やまがたAI部」

山形県が主催するAIプログラミング教育を通じた『デジタル人材育成プロジェクト』に参加。AI甲子園で課題解決学習を行う。伴走企業にトレーナーとしてアドバイスをもらっている。

## ガードマン東海を提案

自転車事故防止AI。画像等をAIに認識させ危険箇所でブザーを鳴らして注意喚起をさせる。

GPSも活用。スマホアプリ化し、エッジで動かすことを目標にする。

自転車に装着するケースを3Dプリンタで作成。

## 生成AIの活用は

テーマ検討、課題の洗い出し、AIの構築アドバイス、海外論文翻訳・要約、画像生成など幅広い。

要するに、どんなことにも使用している。そのため活用紹介ができないほど膨大である。

ChatGPT4、Gemini(Bard)、

MicrosoftCopilot(BingChat)

にも精通し、案件によって使い分けをしている。

生徒は「生成AIを使って何かしよう」ではなく、スマホを触るように当たり前に使いこなしている。活用頻度や応用力は教員以上であり、凄まじい。

**<教育利用> ②部活動での活用（コンピュータ部） 課題解決学習で使用****生徒感想等****##やったこと**

- ・英字論文を翻訳し、文中の疑問点を質問したり、自身の認識が正しいか確認する。英文を読み、分からなかった文の文法や熟語の意味まで解説させる。
- ・初めて触れることに取り組む際に、取り得る選択肢を列挙させる。みんなが「何でもいい」と思っていることを、自分たちを演じさせ、議論させることでとりあえずの結論を出す。自分たちの会話の癖を覚えさせても面白そう。
- ・「確認する」と「確認をする」、「初速が速まる」など微妙な違いからくるそれぞれのニュアンスを聞く。

**##感想**

- ・生成AIを活用した一番のメリットとしては、作業の初速が上がったことだ。初めてのことを行う際にはまず、情報収集をする必要がある。本来であれば複数のソースを見比べ、概要を掴む必要があるが、ChatGPTを使うと複数のソースを把握した上で解説してくれ、もう少しだけ詳しく知りたいときには対話をすることもできるため、初期の情報収集には適している。だが、ファクトチェックをするためには自身が正しく理解をする必要があるため、最終的には自身の目で1次情報を確認しなければならないと感じている。

生成AI活用事例まとめ



## ＜教育利用＞ ③「和歌の世界を画像化しよう」



① 教員が実演することで興味関心を持たせる。

② 活動を二人一組にすることで話し合いの場を設けるとともに一人で進めることが難しい生徒への対応



## ＜教育利用＞ ③「和歌の世界を画像化しよう」



### プロンプト例

条件に従って画像生成してください。

### 条件

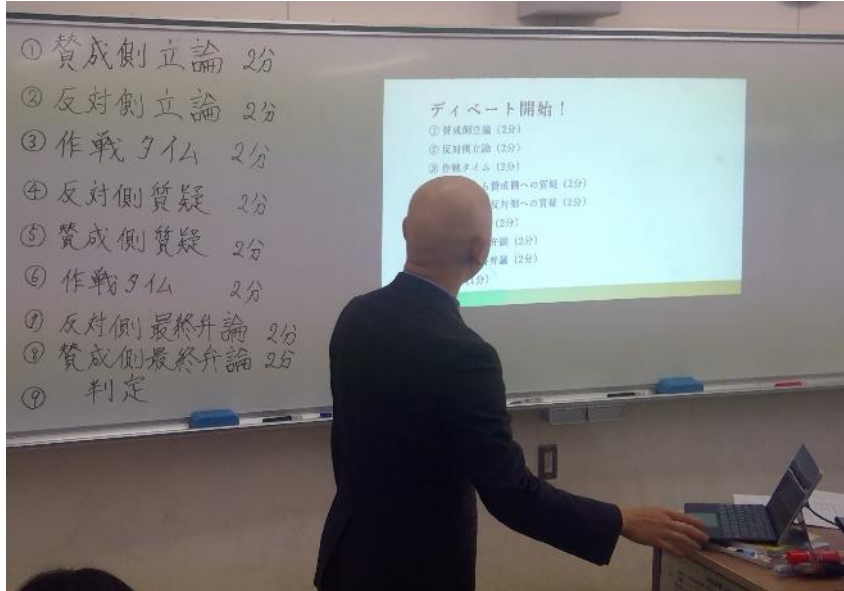
- 1) 静かなところできれいな月を眺めている人物
  - 2) 後悔やら将来の心配やら色々ネガティブな思いを感じる絵
  - 3) ちょっぴりしんみりとした気持ちになる絵
- 以上

和歌は

「月見れば ちぢにものこそ 悲しけれ  
わが身一つの 秋にはあらねど」

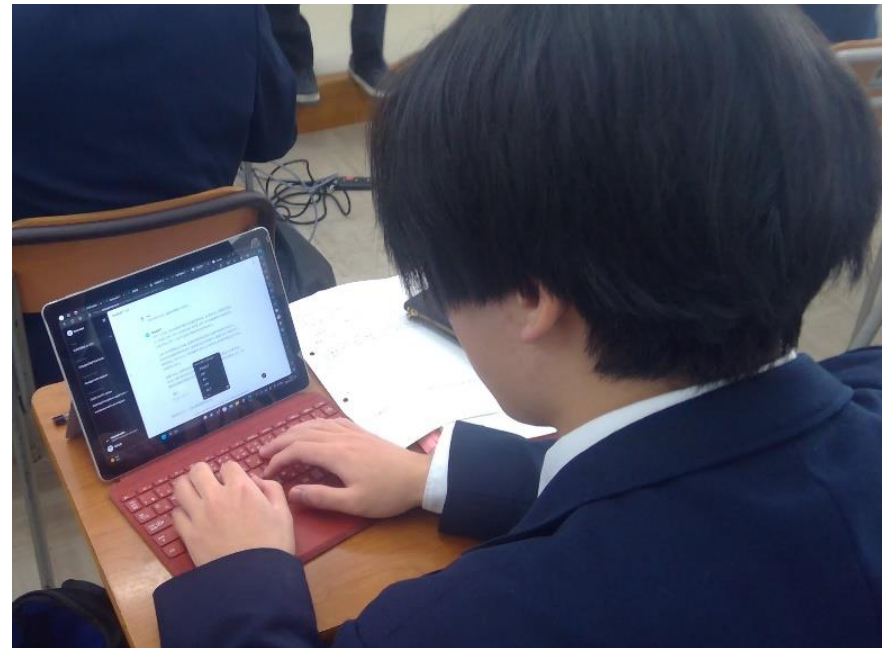


③ 最後に出来上がった画像を皆で感想を述べる。

**<教育利用> ④ 生成AIとディベートしよう**

① 教員ディベートの進め方の説明を行う

② 生成AIを相手にディベートを行う





## ＜教育利用＞ ⑤ 生成AIを用いて前時の復習をしよう



① 教員が小問題をChatGPTの作成を依頼する。

② 教員が問題を読み上げて解説を行う。  
ChatGPTの間違いについても指摘する

